

教えの庭から

私は、寺に生まれて跡継ぎをするため、仏教を学ぶべきであるのに、無関係の物理学を学び、素粒子論を研究していた時期がありました。そのため本紙で紹介されていた島根大学の波場直之教授の著書『素粒子の探究で宇宙がみえてくる』をとても興味深く読みました。

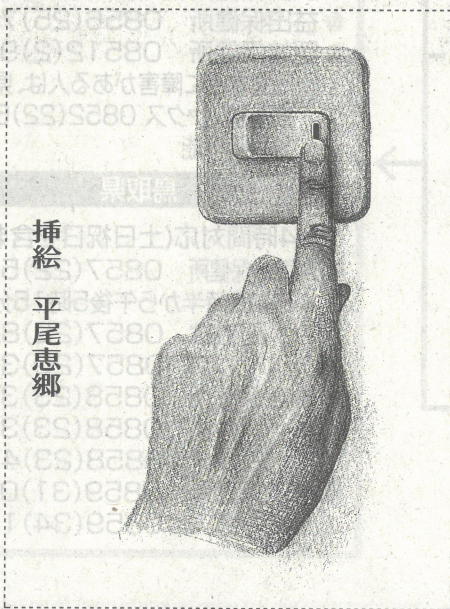
その中で、特に感銘を受けたのは36話「ゲージ理論／ため息が出るほど美しい」です。そこには、宇宙には電磁力、重力、強い力と弱い力の四つの力があり「四つの力はこの『ゲージ理論』で完璧に記述されま

宇宙の真理はありがたい

出雲市斐川町・仁照寺住職 江角 弘道

気がして、ものすごい感動と衝撃を受けました。そして、あまりにも美しいがゆえに、この理論を知らずに死んでしまう人がほとんどであるのはあまりにも惜しいと思いました」と書かれています。

現代生活では、電磁力を利用した機器（テレビ、携帯電話などがあふれていて、電磁場だらけです。このゲージ理論の話は、仏教における仏様の力（働き）の話とよく対応しています。



挿絵 平尾恵郷

「ゲージ理論」は「場の」と考えられます。仏教に「理論」の一形式であり、力は「本願力」「観音力」などを媒介する場（ゲージ場）の存在が自然に出てきます。電磁力に対しては電磁場、重力に対しては重力場などです。その場は宇宙空間に広がっていますが、目

私たちは生命体の生きる場は、地球の上です。地球は宇宙空間にあり、宇宙のことです。例えば携帯電話が発する電磁力（電磁波となる）は、すぐに宇宙空間（この場合は電磁場という）に光速で満ちてきます。しかしながら、受信者は常に携帯電話のスイッチを入れていないと同様に、仏様は法界で常に教えを説き広めておられます。その教えを受信することにはない、また「ほとけは願力自由におはすがゆえに、十方国土のなか、あらゆる世界の海にあまねく示現して、おしえを説きひろめたまふ」とあります。ある物理的な力を記述する法界という場（生命場ともいえる）には、目には見えない仏様が常にいらつしやうて、煩惱だらけで苦しんでいる私たちに救いの手（本願力や観音力）をさしおのべてくださっているのです。その力を授かるために思いました。